

あぶくま通信

Vol. 4

「ウイズコロナの総会」開催

会長 安藤 勇夫

日本経済新聞の『迫真』というルポのコーナーに、4月3日から4回の連載で「ウイズコロナの新年度」と題する記事が掲載されました。

これは新年度をスタートした企業や行政が、ウイズコロナの新常态を模索する姿をレポートしたものです。が、「老いの一徹」でしょうか、私はこの時点ではまだ、「ウイズコロナ」とは「新型コロナウイルスを撲滅できないがゆえのある種白旗」と捉えておりましたので、「ウイズコロナ」と云う言葉が普遍化することに抵抗を感じておりました。

しかし、その後、オミクロン株BA5系統の現出による第7波が襲来し、政府もそれへの対応の中で、今までのコロナ対策の方針や規制を見直すなど、「ウイズコロナの社会活動」は拡がりを見せておりますため、私もこうした現実を踏まえて、

「ウイズコロナ」許容への意識転換を図り、会活動を運営して行かなければと考えております。

そのようなことで、10月21日に総会を開催すべくお知らせを差し上げましたが、総会・懇親会の会場では、空調による換気、座席のアクリル板仕切り、飲食時以外のマスク着用等、コロナウイルス感染防止対策を徹底し、安心してご出席頂ける総会にしたいと思っておりますので、ご出席を宜しくお願い致します。

幸い9月に入り首都圏の感染者数は減少傾向にありますので、10月の総会の頃には、更に感染が減退するものと期待しております。今年度の総会は「ウイズコロナ」の開催となりますが、来年度は「アフターコロナ」の総会となるようお願いしております。

☆新会員ご紹介のお願い

9月1日現在の会員数は**183**名です。新会員のご紹介(氏名、出身地、住所、電話番号)を、宜しくお願い致します。

連絡先 会事務所(042・636・5061)、もしくは、役員まで。

母県ニュース

JR只見線

10月1日全線運転再開

福島県の会津若松駅(会津若松市)と新潟県の小出駅(魚沼市)を結ぶJR只見線は、平成23年7月新潟・福島豪雨災害で甚大な被害が発生し、3つの鉄道橋が流出するなど、大きな被害が発生しました。

復旧工事も完了し、いよいよ今年10月1日に全線で運転が再開される予定となっています。

只見線は秘境ローカル線としても人気が高く、只見川や河畔の集落、雄大な山々がおりなす車窓からの絶景は、多くの方々に愛されています。今やその魅力は国外にまで及び、



JR 只見線の景観 (金山町大志集落付近)

中国のインターネット上では「世界で最もロマンチックな鉄道」と絶賛され、また、日本在住外国人が選んだ「アフターコロナに行きたい日本の観光地」の第2位に選出されるなど、国内外から注目を集めています。

まもなく全線再開となる只見線ですが、福島県や会津地域では、地域が一体となって多くの方に只見線に乗って楽しんでもらえるよう、只見線の利活用促進に取り組んでいます。今年度は、全線運転再開を記念し、只見線に乗ったことがない方にも沿線の魅力を味わっていただける1泊2日の特別ツアーを募集しております。

旅行会社4社が連携し、様々なコースプランをご用意しておりますので、特設サイトをご覧ください。

奥会津、只見線の旅 **検索**

また、加入特典として沿線店舗等で割引等が受けられる「只見線応援団」や、沿線の観光情報などを只見線ポータルサイトでご紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

(情報のご提供)

福島県只見線管理事務所

『我がまち』紹介

今回は、県南の矢吹町、西郷村、
県中の古殿町のご紹介です。

⑧ 矢吹町

日本三大開拓地の一つである「開拓の町矢吹町」。そのフロンティアスピリットで、いま矢吹町は新たな町づくりが始まっています。福島県の南部に位置する矢吹町では、美しい自然や文化歴史を守りつつ、次世代への新しい暮らし方をカタチにする、デジタル田園タウン構想が動き出しています。暮らしやビジネスに



未来くるやぶき

デジタル技術の活用を進め、誰ひとり取り残さないために、地域課題全てをま

とめ、持続可能な矢吹町の将来に向けた社会環境の整備と経済発展に取り組んでいます。

町内には自然豊かな公園や温泉、充実した医療機関、そして幼稚園・



大池公園

保育園、認定こども園から小・中・高までが揃っており、子どもの学び場と遊ぶ環境が整っている

のも矢吹の魅力です。これからの新しい矢吹町にご注目ください。

⑨ 西郷村

西郷村は、その名のとおり城下町白河の西の郷として、縄文時代から恵まれた自然や伝統・文化を守り、受け継ぎ、今に伝えています。

日光国立公園の赤面山・甲子山の東側山麓に広がる白河甲子高原地帯。「阿武隈川源流の郷」として阿武隈



全谷紅葉の雪割溪谷

川の流れる美しいみ出す美しい渓谷美に架かる「雪割橋」。松平定信公も好んで訪れた秘湯甲子温泉。四季折々

に美しい風景を見せる遊歩道……。西郷村は多彩で豊かな自然環境に恵まれています。

また、西郷村はJR新白河駅、白河ICなどの充実した交通網も整備された「都市機能」としての魅力もある「高原公園都市」でもあります。

令和3年には「自治体四季報」で『経営力日本一』に選出され、令和4年には、株式会社TOKIOが「TOKIO-BA」をオープンし、西



双幹の巨樹：剣桂

郷村への注目度が高まっています。様々な顔を持つ西郷村に、ぜひお越しいただき、西郷村ならではの体験をお楽しみください！

⑩ 古殿町

古殿町は、福島県南部、沿岸と内陸とを結ぶ古い街道沿いにある山間に位置し、人口約5000人の自然豊かな町です。古くから重要な街道の中心に位置していたこの地域は、昔から人や物の交流の地点でもあり



古殿八幡神社 大イチョウ

秋には町内各地で紅葉を楽しむことができます。中でも古殿八幡神社の境内にある大きな

イチョウの木は、鎌倉岳の山頂からもその姿を見ることができ、秋には地面一帯を黄色いじゅうたんへと変えてくれます。町の農業集落多目的集會施設「大網庵（おおあみあん）」は、昔ながらの茅葺屋根の民家をモチーフにした集會施設です。いろいろや和室などがあり、心休まる時を過ごせます。古殿町での体験宿泊、リモートワーク、イベント開催など、利用者の幅広いニーズに対応可能です。



多目的集會施設 大網庵

ぜひ古殿町の自然を味わいにお越しください。

芸能関係紹介コーナー

芸能福島県人会会員紹介・その4

今回は、歌謡の北川裕二さんと民謡の佃光堂さんをご紹介します。

☆ 北川裕二さん

郡山市出身。1983年、日本テレビ系「新スター誕生」で第6代グラウンドチャンピオンに。作曲家弦哲也さんの弟子となり、「増子ひろゆき」



の芸名で1984年に「雨の停車場」でデビュー。1986年に「北川裕二」に改名。代表曲に「溺愛」「港哀歌」など。本年2月に待望の新曲「湯涌恋灯り」海を渡った人生」を発売。
☆ 佃光堂さん
田村市出身・在住。日本コロムビア専属歌手。民謡家として活躍する一方、平成27年から福島県民謡連盟会



長をつとめ、平成29年7月には日本民謡協会公式訪問団の一員としてブラジルを訪れるなど、長きに渡って民謡の普及と発展に貢献。それらの功績が称えられ、平成29年10月には公益財団法人日本民謡協会より民謡功労章を受章。

(提供) 芸能福島県人会事務局
(福島民報東京支社内)

「芸能福島県人会40周年記念ふるさと特別公演」開催のお知らせ

本県出身・ゆかりの芸能人らでつくる芸能福島県人会の設立40周年記念ふるさと特別公演は10月15日、郡山市のけんしん郡山文化センターで開かれる。新型コロナウイルスの影響で3月の開催を延期していた。会長の民謡歌手原田直之さん(浪江町)をはじめ、歌謡や民謡、クラシ

ックなどに取り組みむ24人が出演する。

「越冬つばめ」など多くのヒット作を手掛けた日本作詩家協会会長の石原信一さん(会津若松市出身)を特別ゲストに招く。初代会長を務めた作曲家古閑裕而さん(福島市出身)、二代目会長の作詞家丘灯至夫さん(小野町出身)の名曲も披露する。

開演は午後2時。チケットは全席指定、3千円(税込み)で販売中。問い合わせは事務局 電話024(531)4171、または、芸能福島県人会事務局 電話03(6226)1001へ。



出演者は次の通り。

▽歌謡Ⅱ織田みさ穂(郡山市出身) 北川裕二(郡山市出身) 鈴木ヤスシ(会津坂下町ゆかり) 奈央(郡山市出身) 西山ひとみ(田村市出身) 新田晃也(伊達市出身) 春奈かおり(南会津

町ゆかり) 福島一兵(浪江町出身) 福島はじめ(南相馬市出身)

▽民謡Ⅱ伊藤はじめ(郡山市出身) 伊庭末雄(郡山市出身) 小野田浩二(相馬市出身) 小山みつな(南相馬市ゆかり) 佃光堂(田村市出身) 根本美希(会津若松市出身) 原田直之(浪江町出身) 福本えみ(本宮市出身)

▽クラシックⅡ遠藤優子(二本松市出身) 大伏啓太(福島市出身) 長瀬賢弘(いわき市出身)
▽作詞Ⅱ三里こうじ(猪苗代町出身) ▽司会Ⅱ一谷伸江(福島市出身) 尾形明美(郡山市出身)
▽特別ゲストⅡ石原信一(会津若松市出身)



ふるさとの秋

各市町村のイベント等
令和4年9月～令和5年4月

【地元開催イベント予定】

◇埴町

☆はなわのダリア祭り

8月1日(月)～10月31日(月)

会場 湯遊ランドはなわダリア園

問い合わせ 埴町観光協会

0247・43・3400

◇棚倉町

☆わくわく!たなぐら

スタンプラリー

10月1日(土)～12月31日(土)

場所 棚倉町内

問い合わせ 地域創生課

0247・33・2112

☆御田植祭(旧暦1月6日の行事)

令和5年1月27日(金)

場所 八槻都々古別神社

問い合わせ 棚倉町観光協会

0247・33・7886

◇古殿町

☆チェンソーアート文化祭

10月29日(土)

会場 古殿町民体育館

(やぶさめアリーナ)駐車場

問い合わせ 産業振興課

0247・53・4620

◇白河市

☆白河提灯まつり

9月16日(金)～18日(日)

会場 鹿嶋神社など白河市内

問い合わせ 白河まつり振興会

0248・22・1147

☆南湖公園竹籠ライトアップ

10月28日(金)～2週間程度

会場 南湖神社参道

問い合わせ 産業部観光課

0248・22・1111

〈同時開催〉南湖公園翠楽園

紅葉ライトアップ

問い合わせ 白河観光物産協会

0248・22・1147

☆白河だるま市

令和5年2月11日(土・祝)

会場 白河市内

問い合わせ 白河まつり振興会

0248・22・1147

◇玉川村

☆たまかわ健康フェス2022・

さるなしウォーク

9月25日(日)

場所 たまかわ文化体育館駐車場・

屋外ステージ

問い合わせ 玉川村健康福祉課

0247・37・1024

☆たまかわ産業まつり

11月6日(日)

場所 右に同じ

問い合わせ たまかわ産業まつり

実行委員会

0247・57・4629

◇中島村

☆2022輝ら×2秋まつり

11月5日(土)

会場 中島村大字滑津字二ツ山

問い合わせ 企画振興課

0248・52・2113

◇西郷村

☆にしごう祭り

11月5日(土)

場所 ウインズ新白河周辺(予定)

問い合わせ 産業振興課

0248・25・1116

☆源流の郷 観桜健康ウォーキング

令和5年4月中旬頃

場所 「太陽の国」周辺

問い合わせ 生涯学習課

0248・25・2371

◇石川町

☆オータムフェスタ2022(仮)

10月下旬～11月上旬

場所 モトガツコ

問い合わせ 石川町観光物産協会

0247・26・9113

☆いしかわ桜谷

スプリングフェスタ2023(仮)

令和5年4月上旬

場所・問い合わせ 右に同じ

◇泉崎村

☆産業収穫祭

10月29日(土)

会場 泉崎ソフトボール場

☆桜ウォーク

令和5年4月上旬

会場 昌建寺・泉崎ソフトボール場

問い合わせ いずれも 産業経済課

0248・53・2430

◇三春町

☆三春だるま市

令和5年1月の第3月曜日

場所 大町おまつり道路

☆三春滝桜

令和5年4月上旬～中旬

場所 三春町大字滝字桜久保

問い合わせ (次頁に続く)

いずれも(株)三春まちづくり公社

0247・62・3690

◇本宮市

☆もとみや秋祭り

10月21日(金)～23日(日)

場所 JR本宮駅東口周辺

問い合わせ 産業部商工観光課

0243・24・5382

◇川俣町

☆コスキン・エン・ハボン

(国内最大級の中南米音楽祭)

10月8日(土)～9日(日)

場所 川俣町中央公民館

問い合わせ 生涯学習課

024・565・2434

・詳細を8頁に紹介

◇国見町

☆国見町義経まつり

9月23日(金・祝)

場所 藤田商店街

問い合わせ 企画調整課

024・585・2967

☆くくにみマルシェ

10月22日(土)～23日(日)

場所 道の駅国見あつかしの郷

問い合わせ 産業振興課

024・585・2238

【首都圏開催イベント予定】

◇棚倉町

☆東白川フェア(物産展)

11月12日(土)～13日(日)

会場 東京都江東区潮見

東京イーストサイドホテル権会

問い合わせ 地域創生課

0247・33・2112

◇埴町

☆ダリアの華展 2022

9月30日(金)～10月2日(日)

会場 池袋サンシャインシティ

問い合わせ まち振興課

0247・43・2112

◇白河市

☆江東湾岸まつり

11月12日(土)～13日(日)

物産品販売・観光PR

会場 豊洲公園

問い合わせ 観光課

0248・22・1111

◇国見町

☆くくにみ物産展

9月17日(土)～21日(水)

場所 歌舞伎座 地下フロア

問い合わせ 産業振興課

024・585・2986

◇二本松市・本宮市・大玉村 共催

☆福島県と安達地方の観光物産展

11月26日(土)～27日(日)

会場 浅草・浅草寺境内

問い合わせ

・二本松市 産業部商工課

0243・55・5120

・本宮市 産業部商工観光課

0243・24・5382

・大玉村 産業課商工観光係

0243・24・8096



◇二本松市

☆二本松市地場産品フェア in 大宮

令和5年1月中旬～下旬(予定)

場所 さいたま市大宮駅東口

まるまるひがしにほん

問い合わせ 産業部商工課

0243・55・5120

(注) 各イベントは、コロナの感染状況により中止することがあります。

【都内アンテナショップのご案内】

◇福島市

☆気仙沼・久慈・福島

情報ステーション『おかえり館』

「あぶくま通信第2号」でご紹介しました『おかえり館』は、現在通年で開設しております。

福島市の特産品を取り揃えて、皆様のご来店をお待ちしております。

場所 千代田区有楽町2の10の1

東京交通会館 地下1階

電話 03・6259・1651

問い合わせ

福島市観光交流推進室

電話 024・572・5718



『おかえり館』店舗

福島県産農林水産物の放射線物質検査について

あの東日本大震災・原子力災害から11年が経ちましたが、国、県のレポート等によりますと、未だ福島県産農林水産物の放射性物質汚染の風評被害は、払拭出来ていないと言いつつ、状況にあります。

来春にはコロナが下火になり、福島県の各市町村が首都圏で「物産品販売」を再開する日が到来することを期待して、本号では、その応援のための準備として、「福島県産農林水産物の安心・安全」のために、農家をはじめ関係者の皆様がどのような取り組みをしているかをおさらいしておきたいと思えます。

以下、福島県農林水産部環境保全農業課殿にお伺いし、農林水産物の「放射性物質モニタリング検査」の方法・基準値・検査結果等について



て概要をまとめましたのでご報告致します。

【1】検査方法と検査施設

モニタリング検査(抽出検査)は、国が示すガイドラインに従って実施しており、福島県では、主に「福島県農業総合センター」(郡山市日和田町)で実施しています。検査機器は、国のマニュアルに基

づき、ゲルマニウム半導体検出器を使用しています。(検査の手順は【資料1】参照)

【資料1】参照

検査は、各品目の生産・出荷等の実態に応じて、それぞれ実施していただきます。ただし、基準値を超える、または基準値に近い放射性物質が検出された場合は、検査頻度を強化することとしています。

【2】出荷OK・NGの判定基準

食品中の放射性セシウム濃度の基準値は、日本は欧米など国際的な基準値と比較して1桁厳しい数値となっております。(資料2)表参照。基準値・一般食品100Bq/kg、牛乳50Bq/kg、単位・Bq/ベクレル)

【3】出荷判断

モニタリング検査(抽出検査)の結果、基準値を下回っている地域の品目だけを出荷することができます。

モニタリング検査

(抽出検査)で基準値を超えた場合は、都道府県や市町村等の単位で出荷制限等の措置がとられるため、基準値を超えたものは流通されません。

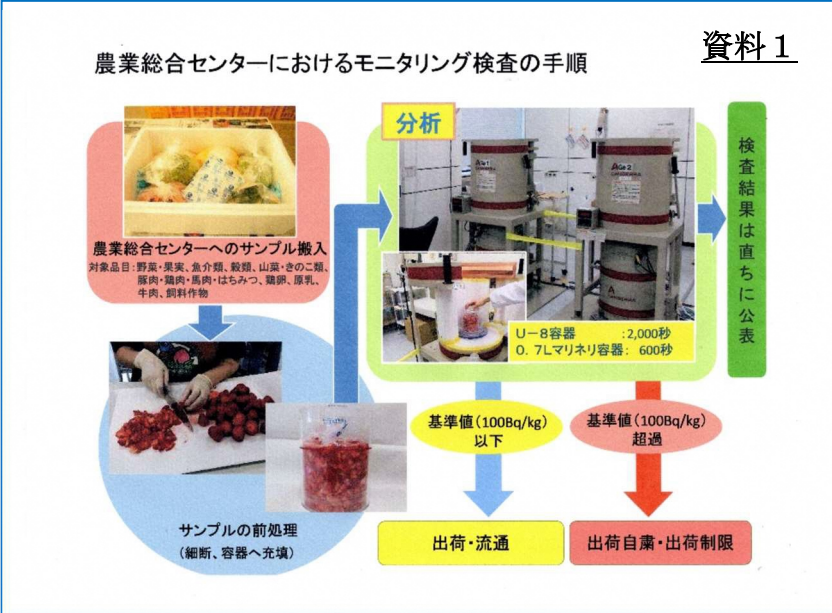
【4】米の全量全袋検査について

米の検査については、平成24年産から県内で生産される全ての玄米を、ベルトコンベア式放射性セシウム濃度検査器等を用いてスクリーニング検査(全量全袋検査)を行ってきました。検査の結果スクリーニングレベルを超過した検体は、ゲルマニウム半導体検出器を用いた詳細検査を実施しています。

【資料3】参照

【5】モニタリング検査実績

令和2年度1年間の検査件数は1



放射性物質の検査結果 (2021年4月1日~2022年3月31日)			資料2	
種別	検査数	基準値超過数(割合)	日本の放射性セシウムの基準値【食品衛生法】(Bq/kg)	
玄米	1,055件	0件(0%)	一般食品	100
野菜・果実	2,091件	0件(0%)	牛乳	50
畜産物	3,682件	0件(0%)	乳児用食品	50
栽培山菜・きのこ	628件	0件(0%)	飲料水	10
野生山菜・きのこ	664件	0件(0%)	各国の放射性セシウムの基準値【一般食品】(Bq/kg)	
海産魚介類	3,956件	1件(0.03%)※1	日本	100
河川・湖沼の魚類	401件	2件(0.5%)※2	コーデックス	1,000
内水面養殖魚	46件	0件(0%)	EU	1,250
			アメリカ	1,200

※1 クロソイ
 ※2 ヤマメ、イワナ(既に国から出荷制限が継続されている品目です) *註) コーデックス：国際食品規格

2】に示す。) 万4千424件、令和3年度1年間
 の検査件数は、1万3千411件で
 す。(令和3年度のデータを【資料

このうち、令和2年度には、基準
 値を超過した品目は1件もありませ
 んでした。 令和3年度は、水産物(海産)のク
 ロソイが1件、水産物(河
 川)のイワナ、ヤマメがそ
 れぞれ1件、基準値を超え
 ました。

以上のとおり、栽培され
 ている品目については、放
 射性セシウムの吸収を抑制
 させる技術が科学的に明ら
 かになってきているため、基準
 値を超過するものは出てい
 ません。
 各種別の、基準値超過な
 しの期間は以下の通りで
 す。
 玄米 2015年から7
 年連続、野菜・果実 20
 13年から9年連続、畜産
 物 2012年から10年
 連続、栽培の山菜・きのこ
 2012年から10年連
 続、超過なしです。
 なお、平成23年から令
 和4年3月までの検査件数
 は、累計約26万件です。



県によりますと、今後も福島県産
 農林水産物の安全性を担保するため
 継続してモニタリング検査を行うと
 ともに、科学的根拠に基づいた正確
 な検査結果と安全性について、情報
 発信してゆくとのことです。

以上、より詳しくは「福島県公式
 ホームページ」をご覧ください。
 (情報・資料のご提供)
 福島県農林水産部環境保全農業課

「ミデッテ」だより

皆様いかがお過ごしでしょうか。日本橋ふくしま館ミデッテは、2014年4月に開館して以来、300万人のお客様にご来館いただきました。福島を応援いただいている皆様に改めて感謝申し上げます。



さて、今回は、お米のご紹介です。福島県は、米作りに適した豊かな気候風土を有する米どころです。8月下旬から早場米の「まゆみ姫」「五百川」「瑞穂黄金」などの新米が出てきます。

秋には、福島オリジナル米「福、笑い」「天のつぶ」を始め新米の美味しい季節となりますので、その美味しさを是非ご堪能ください。

また、秋は、梨やぶどう、りんごなど様々な果物が美味しい季節となります。

催事コーナーでは地元産品や観光をPRする催事も随時行われております。皆様も是非日本橋ふくしま館を「ミデッテ」ください。

(電話 03・6262・3977)

随想

「福島県でロケした映画の名場面」

渡邊隆一郎(郡山市出身)

郡山を舞台にした昭和47年2月公開の東宝映画「百万人の大合唱」須川栄三監督、若林豪、酒井和歌子主演、をご覧になった会員諸氏もおられるでしょう。



また、日芸映画科の学生だった私も、助監督の端くれとして参加していました。

「東北のシカゴ」から「東北のウイン」へとというスローガンで、爆力のイメージが強かった郡山を、音楽の力で悪いイメージを追放・払拭しようとして立ち上がった市民たちの物語です。

クライマックスは暴力追放で立ち上がった市民たちが合唱で謳いあげ

る市民会館の場面です。これは感動的でした。

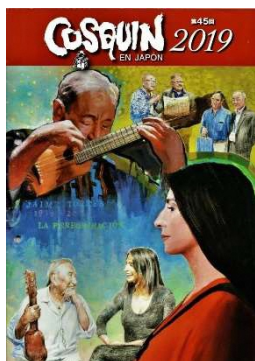
この映画は今日の、楽都郡山、から生まれ、合唱コンクール日本一のもととなるすごい運動を描いたのでした。

市内では何回か上映会が開かれていて、平成18年DVD化されました。

イベント紹介

川俣町

『コスキン・エン・ハポン』



2019パンフレット

今や伊達郡川俣町の伝統行事となっているフォルクローレ(*註)の中南米音楽祭『コスキン・エン・ハポン』が4年ぶりに対面で開催される。(*註・南米アンデス地方に伝わる

民族音楽の総称。『コンドルは飛んで行く』『花祭り』などが有名。)

この音楽祭は、昭和50年の開催が始まりで、次第に国内で最大級の中南米音楽祭へと発展、これまでに「地域づくり総務大臣表彰」をはじめ、数多くの賞を受賞している。



フォルクローレの演奏(ペルー)

『コスキン』の名称は、夏にアルゼンチンのコスキン市で世界的な中南米音楽祭が開催されるため、この音楽祭にあやかって付けられたものである。

今年の「コスキン・エン・ハポン2022」は、10月8・9日に開催されるが、コロナの関係で参加グループは国内の団体に限定し、例年の半分の約100団体の出演となる。

〔主催〕ノルテ・ハポン (北日本中南米音楽連盟)